

No.  
**122**

北里大学病院ニューズレター  
「窓」

# Mado



診療科紹介 精神神経科

## 新しい精神科医療と 精神神経科の今後について

診療科紹介

精神神経科

# 新しい精神科医療と 精神神経科の今後について

北里大学医学部 精神科学 教授  
北里大学病院 精神神経科 科長 **宮岡 等**

## 東病院との移転統合により4月から大学病院で診療を開始

これまで北里大学病院の精神神経科は、他の診療科で体の病気の治療を受けている患者さんの精神面の問題に対応する「リエゾン部門」と「児童精神科部門」の診療を行い、それ以外の精神科診療は北里大学東病院で行っていました。この度の病院移転統合で、精神神経科すべての部門の診療を新しく完成した北里大学病院西館で開始しました。

当科の大きな特徴は、大学病院としては全国的にめざらしく、都道府県・政令市の精神科救急医療体制における基幹病院に指定されていることです。自治体からの依頼に基づいて精神科救急患者を受け入れ、どのような状態の患者さんにも対応できる体制を整えています。北里大学病院はいわゆる総合病院ですから、移転統合後は心身両面に病氣を持つ患者さんも、より迅速に治療ができるようになりました。

また、これまで大学病院で診療をしていたリエゾン部門、児童精神科部門もこれまで以上に充実させていく予定です。

## 大学病院として率先してできることを

心の不調に関する普及啓発活動とともに、精神科受診のハードルは低くなりました。その一方で、症状の重い人の中には精神科受診が困難な人も多いことや、休職せずとも回復できる可能性があるのに精神科医の安易な診断で休職が長引いているのではないかなどの課題もあります。また世界的にみても日本の精神医療は入院医療が中心で、病床数の削減が進んでいないという課題もあります。

大学病院として、そのような日本の精神医療の問題を率先して変えていけるような、地域における適切な精神医療提供体制の構築を目指しています。精神疾患というと統合失調症、躁うつ病から認知症までさまざまですが、どのような精神疾患の方も入院などによって社会から遠ざけるのではなく、基本的には地域（社会）で受け入れるべきであると、私たち北里大学病院精神



神経科では考えています。そこで、当科では以下の取り組みをしています。

## 入院期間の短縮、外来・在宅での治療推進

現在の日本における精神医療は入院医療が中心で、外来や在宅の医療が充実しているとはいえません。諸外国と比べると精神病床数は日本が群を抜いて多く、入院日数も長期になる傾向があります（例えば、アメリカでは平均7-10日のところ、日本は平均200-300日）。入院が長期化する原因のひとつには、精神疾患があるのなら入院によって社会から隔離し、住民の安寧を保ちたいという偏見もあるでしょう。

そこで当科では偏見を取り払い、地域で暮らしながら外来に通院し、通院が難しい方には訪問診療ができるような医療提供体制の整備を積極的に実施します。足がかりとして、すでに訪問看護、訪問診療を始めています。

## 診療の透明化と標準化

患者さんにできるだけ地域で生活していただくためには、大学病院だけで外来診療や訪問診療を担うことはできませんから、地域の精神科医療機関との連携が不可欠です。ただこれにはまだ問題が残されています。精神医療は患者さんと医師だけがいる部屋で面接することが多い、ある意味密室診療です。外科手術を多くの医療スタッフがみて議論しあうような場面は、大学病院や一部の総合病院を除いて多くありません。多く

のスタッフが治療方法を議論し、共有すればいいのですが、そうすると精神科では患者さんの個人情報も多く、多くのスタッフが知ることにもなりかねません。当科ではこうした課題を解決するために「診療の透明化と標準化」として目指していますが、まだ時間がかかりそうです。そのため地域の精神科医療機関にご紹介した患者さんが、「北里と治療方針が違う」と言われて戻られることも少なくありません。

このあたりが精神医療の医療機関間の連携における大きな課題と考えています。日本の医療制度上難しいのですが、例えば面接に看護師が同席することや、他の医療機関や公的機関の医療関係者が透明化のために、何らかの形で関わられるようにすることを考えてよいでしょう。現在は自由診療ということになり、費用もかかりますが、セカンドオピニオン（他の医師の意見を求めること）が一般に浸透して、活用されることも望んでいます。そして診察室という密室で医師が自己流の診療を行うのではなく、どの精神科医も同じ標準化された診療ができることを目指さなければなりません。

これに関連して、私が患者さんに伝えていることがあります。それは「処方された薬は、病院の門前薬局ではなく、ご自宅近くの自分がいつも利用しているかかりつけの薬局で処方してもらいましょう」です。かかりつけの薬局ならば、処方偏りが付度せず医師に尋ねやすくなりますし、患者さんの体調やご自身が今までどのような薬を服用していたかもよく知っているでしょう。これも広い意味での、精神医療の透明化を目指すセカンドオピニオンといえるのではないのでしょうか。

### バランスの取れた精神科医の育成

日本では児童精神科医は子どもしか診られず、逆に児童を専門としない精神科医は子どもを診られない場

合が多くあります。大学病院としてそのようなことにならないためにも、児童を専門としない精神科医でも子どもを診られるような教育を行っていますし、さらに充実させていくつもりです。大学病院というと専門外来ばかりの大学もありますが、当科では専門外来に偏らず、一般の外来で領域を問わず診療できる精神科医が育成される仕組みを目指しています。それは精神科医育成のためだけではなく、精神医療にアクセスする人にとっても大切なことだと考えています。

まだ模索中のことも多いのですが、患者さんが安心して治療を受けられ、住み慣れた地域で暮らしていける精神医療を目指し、環境づくりをしています。また、大学病院の使命として日本の精神医療がより良いものになるよう、率先して改革し、情報を発信していこうと考えています。



精神神経科 HP

### 地域の先生方へ

地域の先生方へお伝えしたいことは、過度の医療化はかえって治療の妨げになるという意識を持っていたきたいということです。そして、患者さんにとってベストな治療ができることを一番に考えていただき、患者さんを選別することなく診療をしていただければ幸いです。ですが、改善が見られない患者さんの治療の手を尽くしてしまう前に、早めにご相談や紹介ください。

また、日経メディカルでコラムを連載していますので、ぜひご覧ください。

日経メディカル 連載:宮岡等の「精神科医のひとりごと」  
<http://medical.nikkeibp.co.jp/inc/all/series/miyaoka/>

### Profile / 宮岡 等 (みやおか ひとし)

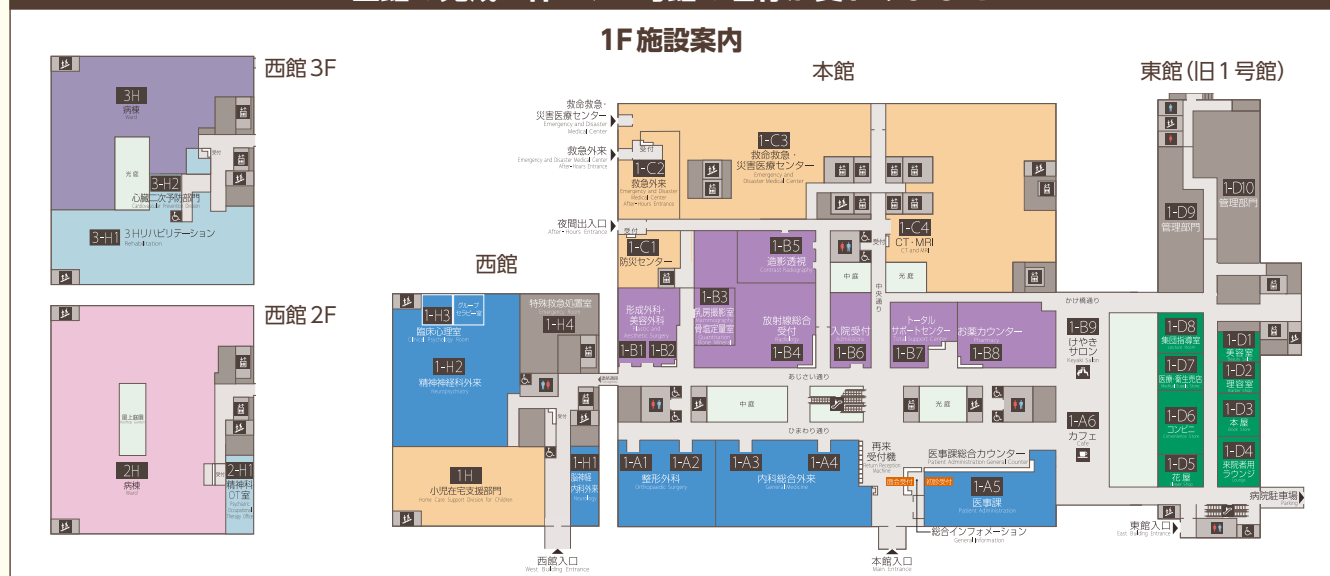
- 北里大学病院 精神神経科 科長 / 北里大学医学部精神科学 主任教授
- 1981年 慶應義塾大学医学部 卒業、1988年 慶應義塾大学大学院 修了 (医学博士)。東京都済生会中央病院精神神経科、昭和大学医学部精神科 講師、助教授を経て、1999年 北里大学医学部精神科学 主任教授。2015年 北里大学東病院長 (兼務)。
- 2020年 北里大学病院 病院長補佐 (兼務)
- 日本精神神経学会 (専門医、指導医)、日本心身医学会 (指導医、専門医)、日本医師会 (認定産業医)
- 著書に「大人の発達障害ってそういうことだったのか その後」(対談:宮岡等、内山登紀夫)、医学書院、2018年6月。「精神医学の羅針盤—精神科の五大陸をめぐる冒険」(対談:宮岡等、黒木俊秀、齊尾武郎、栗原千恵子)、篠原出版新社、2014年7月。「こころを診る技術 精神科面接と初診時対応の基本」:医学書院、2014年6月。「うつ病医療の危機」:日本評論社、2014年6月。「大人の発達障害ってそういうことだったのか」(対談:宮岡等、内山登紀夫)、医学書院、2013年6月。「こころの病は、誰が診る」(対談:高久史磨、宮岡等、他)、日本評論社、2011年8月。「内科医のための精神症状の見方と対応」、医学書院、1995年7月。「脳とこころのプライマリケア (1-8)」監修:日野原重明、宮岡等、2010-2013年。などがある。

# 新しく完成した西館での診療が始まりました！

2020年4月1日より北里大学病院西館での診療が開始されました。

北里大学東病院の診療機能を大学病院へ移転統合し、効率的な診療を行うとともに患者さんの利便性の向上に努めます。西館の診療開始とともに従来1号館と表示していた建物は東館となり、大学病院は本館・東館・西館の構成になりました。西館は主に東病院にあった診療機能を継承する建物として、精神神経科、小児在宅支援部門、心臓二次予防部門、脳神経内科、リハビリテーション部門を配置し、新たに特殊救急処置室を整備しました。

## 西館の完成に伴い、1号館の名称が変わりました



## 北里大学病院泌尿器科外来への患者様のご紹介について

当院泌尿器科ではご紹介を含む新規の患者様や手術件数の増加により、紹介患者様並びに再診・予約患者様の待ち時間が非常に長くなっております。特定機能病院として担うべき高度先進医療の推進、急性期医療における適切な診断・治療が困難な状況になることを懸念し、2020（令和2）年5月1日より原則的に紹介外来制を取らせていただいております。そのため紹介状のない初診・再初診の患者様におかれましては、かかりつけ医の受診をご案内させていただくこととなります。

ご紹介いただける患者様には紹介状（診療情報提供者）をお渡しいただきますようお願いいたします。

## 医療機関専用のご予約について

医療機関専用電話 (担当) トータルサポートセンター・事務

☎ 042-778-9988

受付時間

月～金  
土（第1・3・5）

午前8時30分～午後4時30分  
午前8時30分～午前11時